2021 年７月号　　７月 15 日（木）発行

釧路湿原国立公園　　温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 298

夏を駆け抜ける生きものたち…

枯れヨシに器用につかまって囀りを聞かせてくれているのは、貫禄のあるオオジュリン。じめじめとした曇りがちな日が続いていますが、お構いなしのようです。

雲間から太陽が顔を出す瞬間だけは、体が軽くなるのか、湿原の小さな生きものたちは何だか嬉しそうに見えました。

☆☆☆温根内ビジターセンター　探勝木道周辺の自然情報☆☆☆

～温根内探勝木道周辺の自然～

【トキソウ】
ラン科　朱鷺草
野鳥のトキ（朱鷺）の色に似ているとして名前が付いた植物。淡いピンクがミズゴケ湿原に彩りを添えます。

【ヤナギトラノオ】
サクラソウ科　柳虎尾
ヤナギに似た葉を持ち、黄色い小さな花が集まって咲いています。よく見ると、突き出た雄しべも同じく黄色をしています。

【アカネムグラ】
アカネ科　茜葎
目立たない花ですが、星の形に裂けた花冠が集まってひっそりと咲いています。ヨシの合間をよく探してみましょう。

【エゾノレンリソウ】
マメ科　蝦夷連理草
他の植物に絡まって生長する、つる性の植物で、こちらもひっそり系。よく見ると花の色はバリエーションがあります。

【ヨツボシトンボ】
トンボ科
春から秋にかけて、トンボと言えば本種が幅を利かせて飛んでいます。腹部が幅広いのが特徴で、よく見ると毛も生えています。

【シオヤトンボ】
トンボ科
ヨツボシトンボが飛び交う中に、時折見かけます。オスは腹部の先端近くまでが青白いのが特徴で、すぐ見分けられます。

○表紙の写真 上：オオジュリン　中右：コタヌキモ　中左：キタイトトンボ　下：ルリボシヤンマの羽化

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

木々の葉が生い茂り、野鳥観察がやや難しくなってきましたが、まだまだ楽しめます。湿原では囀りが聞こえてくるほか、巣立った幼鳥が至るところで見られるようになりました。これからすくすく成長して、じきに南へと旅立っていく野鳥たちを暖かく見守ってあげてください。

【キビタキ】　夏鳥
ヒタキ科　黄鶲
丘陵地の森で美麗な囀りを聞かせてくれています。縄張り意識が強く、この日は嘴に餌をくわえてこちらを警戒していました。

【カワラヒワ】　漂鳥
アトリ科　河原鶸
上空を飛んでいることが多いですが、偶然ハンノキの枝に止まってくれました。本種の特徴である太い嘴が目立ちます。

【ノビタキ（幼鳥）】　夏鳥
ヒタキ科　野鶲
今年も幼鳥の姿をよく見かけます。「ビィービィー」と鳴きながら親鳥の後を追いかける姿からは、必死さが伝わってきます。

【ムクドリ】　夏鳥
ムクドリ科　椋鳥
上空を「キュルキュル…！」という声とともに群れが通過していきました。街中でもよく見かけますが、温根内では稀な本種です。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（６月 15 日～７月 14 日）※和名は五十音順　*外来種

■アカネムグラ■イグサ■イケマ■イチゲフウロ■イッポンスゲ■イヌタデ■イワノガリヤス■ウツボグサ■ウマノミツバ■エゾイチゴ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾカラマツ■エゾカンゾウ■エゾナミキ■エゾノカワヂシャ■エゾノギシギシ*■エゾノクサイチゴ■エゾノシモツケソウ■エゾノミツモトソウ*■エゾノレンリソウ■エゾムグラ■エンコウソウ■オオカサスゲ■オオカワズスゲ■オオダイコンソウ■オオツリバナ■オオバコ■オオバタネツケバナ■オオハナウド■オオバノヤエムグラ■オオヤマフスマ■オニノヤガラ■カキツバタ■カタバミ■カモガヤ*■カラコギカエデ■カラフトイソツツジ■カラフトノダイオウ■キクムグラ■キツネノボタン■キツリフネ■ギョウジャニンニク■クサノオウ■クサヨシ■クサフジ■クリイロスゲ■コクワ（サルナシ）■コタヌキモ■コツマトリソウ■コハコベ■コメツブウマゴヤシ*■コンロンソウ■サギスゲ（実）■シオガマギク■シラオイハコベ■シロツメクサ*■スズメノカタビラ■スズメノヤリ■セイヨウタンポポ*■タヌキモ■チシマアザミ■チシマノガリヤス■ツメクサ■ツリバナ■ツルウメモドキ■ツルコケモモ■ドクゼリ■ナガバツメクサ■ナズナ■ヌマドジョウツナギ■バイケイソウ■ハナタネツケバナ■ハルザキヤマガラシ*■ヒメカイウ■ヒメジョオン*■ヒメタガラシ*■ヒロハヒルガオ■フランスギク*■ヘラバヒメジョオン*■ホザキシモツケ■ホソバイラクサ■ホソバノシバナ■マツヨイセンノウ*■マムシグサ■マユミ■ミソガワソウ■ミゾソバ■ミツバウツギ■ミミナグサ■ミヤママタタビ■ムジナスゲ■ムラサキツメクサ*■メマツヨイグサ*■ヤナギトラノオ■ヤネタビラコ*■ヤマハタザオ■ヤマブキショウマ■ヤマブドウ■ワタスゲ（実）

○温根内周辺で観察された鳥（６月 15 日～７月 14 日）和名は日本鳥類目録第７版の順

■マガモ■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■ハリオアマツバメ（7/8 初認）■オオジシギ■トビ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ（6/18 初認）■ヒヨドリ■ウグイス■ヤブサメ■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニュウ■シマセンニュウ■エゾセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ムクドリ（6/26 初認）■コムクドリ■クロツグミ■アカハラ■ノゴマ■コルリ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ニュウナイスズメ■ハクセキレイ■ビンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆

○「夏の樹木と花を見に行こう」７月４日　参加者:12 名　講師:大山重治（森林インストラクター）•藤原伸也（VC）

森林インストラクターの大山氏に講師をお願いし、樹木を中心にした植物の観察会を今年初めて開催しました。大山氏からは、よく似た樹木種を見分ける際にどういった点に目をつければよいかを自身の撮った写真なども交えながら丁寧に教えていただきました。中でも講師が力説した見分けるポイントの一つは、茎や葉などに「毛」があるか、ないかという点。ビジターセンター周辺に生育する樹木も、この点から判別できるとのことでした。豊富な経験から語られる大山氏の言葉には厚みがあり、参加者の方々は興味深く聞き入っていました。

☆☆☆☆☆　温根内イベントカレンダー（8月）　☆☆☆☆☆

日	月	火	水	木	金	土
1 ♪温根内周辺の外来植物を探そう	2	3 臨時開館日	4	5	6	7
8	9	10 臨時開館日	11	12	13	14
15 ♪ザリガニウォッチング ～ウチダザリガニ編～	16	17 臨時開館日	18	19	20	21 ♪ PV スポットガイド
22	23	24 臨時開館日	25	26	27	28
29	30	31 臨時開館日	新型コロナウイルスの感染状況により、行事が中止になることもありますのでご注意ください。			

♪ 8/1（日）夏休み！温根内周辺の外来植物を探そう：10：00～12：00（定員 10 名、要申込み）
♪ 8/15（日）夏休み！ザリガニウォッチング ～ウチダザリガニ編～：10：00～12：00（定員 10 名、要申込み）
♪ 8/21（土）PV スポットガイド：9：00～12：00 釧路湿原のパークボランティア（PV）の方々が木道上の見どころのあるスポットでガイドをしてくれます。（申込み不要）

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎ 015-487-3003

♪夏休み 釧路湿原キノコ観察会

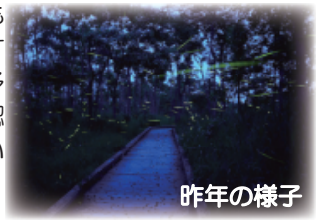
〔日時〕８月７日（土）10：00～12：00　〔定員〕 10 名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕無料　〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

♪釧路湿原自然と歴史を訪ねて

〔日時〕８月 14 日（土）10：00～12：00　〔定員〕 10 名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕無料　〔集合場所〕サルボ展望台駐車場

～飛び交うホタル今年も～

今年もヘイケボタルの季節がやって来ました。鑑賞の際は足元にお気をつけください。また、工事中で通行できない区間もありますので、予めご確認をお願いします。


昨年の様子

月刊　温根内通信　No. 298
発行：釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター
〒085-1145　北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel：0154-65-2323　Fax：0154-65-2185
E-mail：ovc@hokkai.or.jp
ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/
Facebook：温根内ビジターセンター　フェイスブック
開館時間:9:00～17:00（11 月～３月は 16:00 まで）
休館日：毎週火曜日（12/29～1/3 は休館）　入館無料